

授業科目	在宅看護方法	3 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	上田 泉 (保健医療学研究棟 E104 号) e-mail : iueda@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	深川周平、村川奨、(松本美子)、(車谷香織)、(佐々木雅彦)、(澤井友香)、(上田有希子)		
概要	在宅看護に関わる現状とニーズを理解し、在宅看護活動における基礎的知識、技術、態度について学習する。在宅看護活動における家庭訪問、面接の方法と技術、日常生活支援の方法と技術、主な疾患・症状の特徴と看護、医療依存度の高い療養者と家族の特徴をふまえた支援方法と技術、基本的な留意点を理解する。在宅における看護過程、在宅ケアシステム等について理解を深め、感染対策、転倒予防対策、災害時の対応等の在宅における安全管理について学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護に関わる現状と在宅看護に関わるニーズを説明できる。 2. 在宅看護に関わる支援方法と技術について理解し、信頼関係構築のための基本的な態度がとれる。 3. 在宅看護の特性に即した日常生活援助、主な疾患・症状の特徴、医療依存度の高い療養者と家族の特徴をふまえた支援方法と技術、基本的な留意点を述べるができる。 4. 在宅療養者の生活と健康に即した援助を、看護過程を適用して行なうことができる。 5. 在宅ケアに関わる機関・職種の役割とケアマネジメントについて説明できる。 6. 感染対策、転倒予防対策、災害時の対応等、在宅における安全管理について述べるができる。 		
関連科目	在宅看護学概論、在宅看護実習、保健福祉行政論、地域看護学概論		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	筆記試験	70%	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験は、期末試験の解答状況により評価する。 ・参加態度は、演習の参加状況により評価する。 ・提出物は、提出状況及び内容により評価する。
	参加態度	20%	
	提出物	10%	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> ①波川京子他 [最新版] 「在宅看護学第5 刷増補版」 クオリティケア ②上田泉他 [最新版] 「在宅看護過程演習」 クオリティケア 		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	詳細な学習要項・演習要領は別に配布する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 在宅看護における面接の特徴と方法、在宅療養者・家族との信頼関係形成のためのコミュニケーション技術と態度	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	上田
2	在宅看護における面接の特徴と方法、在宅療養者・家族との信頼関係形成のためのコミュニケーション技術と態度 演習オリエンテーション	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
3	在宅看護における面接の特徴と方法、在宅療養者・家族との信頼関係形成のためのコミュニケーション技術と態度 家庭訪問の技術、訪問時のマナー、訪問かばんの扱い方	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	演習	深川・村川・(上田(有)) (澤井)
4	在宅看護における面接の特徴と方法、在宅療養者・家族との信頼関係形成のためのコミュニケーション技術と態度 家庭訪問の技術、訪問時のマナー、訪問かばんの扱い方	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃
5	在宅における日常生活支援の方法と技術	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	(佐々木)

6	在宅看護におけるフィジカルアセスメント、在宅における移動・移乗、食事、排泄等への看護、在宅における褥瘡悪化防止の指導技術、居住環境のアセスメントと安全への支援	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
7	医療依存度の高い療養者と家族への支援方法と技術	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
8	医療処置を伴う療養者の動向、医療処置を伴う療養者および家族の在宅生活のニーズ、医療処置を伴う療養者への継続看護の実際、医療処置を伴う療養者のケアに必要な看護技術の視点	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
9	在宅ケア機関と役割	事前：事前配布資料を読む。 事後：グループ学習のまとめ	グループ学習	村川・上田
10	在宅ケア機関と役割	事後：グループ学習のまとめ	〃	〃
11	在宅看護に関わる現状とニーズ	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	(車谷)
12	在宅看護に関わる現状とニーズ 高齢化の特徴、高齢者の健康状態、要介護状態に至る背景、訪問看護に求められる国の動向と住民のニーズ、病院・施設から在宅への移行に向けての支援	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	上田
13	慢性疾患、身体障害、難病、悪性腫瘍、感染症、精神障害、認知症、終末期を迎えた人へのケア	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	(佐々木)
14	慢性疾患、身体障害、難病、悪性腫瘍、感染症、精神障害、認知症、終末期を迎えた人へのケア	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃
15	在宅看護における看護過程	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	上田
16	在宅看護における看護過程 模擬事例による対象者のアセスメント、計画立案とロールプレイによる看護実践、評価の実際 演習オリエンテーション	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	深川
17	在宅看護における看護過程①	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	演習	上田・深川・村川
18	在宅看護における看護過程①	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃
19	在宅看護における看護過程②	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃
20	在宅看護における看護過程②	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃
21	在宅における看護過程の基礎とアセスメント、事例をもとに看護過程を展開、ロールプレイの実施③	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	深川・村川・(澤井)・(上田(有))
22	在宅における看護過程の基礎とアセスメント、事例をもとに看護過程を展開、ロールプレイの実施③	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃

23	在宅における医療処置を伴う人々への看護(在宅酸素療法、在宅自己腹膜灌流・連続携行式腹膜透析法、在宅中心静脈栄養法、吸引、膀胱留置カテーテル、在宅人工呼吸療法等)、褥瘡を伴う療養者および家族へのケア技術演習	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	深川・村川
24	在宅における医療処置を伴う人々への看護(在宅酸素療法、在宅自己腹膜灌流・連続携行式腹膜透析法、在宅中心静脈栄養法、吸引、膀胱留置カテーテル、在宅人工呼吸療法等)、褥瘡を伴う療養者および家族へのケア技術	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃
25	在宅ケア機関と役割 介護保険サービスとケアプラン 地域包括支援センターの機能と役割	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	(松本)
26	在宅ケア機関と役割 在宅でのケアマネジメントの方法と実際 介護保険サービスとケアプラン	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	上田
27	在宅における医療処置を伴う人々への看護(在宅酸素療法、在宅自己腹膜灌流・連続携行式腹膜透析法、在宅中心静脈栄養法、吸引、膀胱留置カテーテル、在宅人工呼吸療法等)、褥瘡を伴う療養者および家族へのケア技術	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	演習	深川・村川・(澤井)・(上田(有))
28	在宅における医療処置を伴う人々への看護(在宅酸素療法、在宅自己腹膜灌流・連続携行式腹膜透析法、在宅中心静脈栄養法、吸引、膀胱留置カテーテル、在宅人工呼吸療法等)、褥瘡を伴う療養者および家族へのケア技術	事前：演習要項、配布資料を読む。 事後：演習記録作成	〃	〃
29	在宅での安全管理	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	講義	上田・深川
30	在宅看護における安全管理と安全対策、生活の中で必要な安全管理と支援、在宅看護のリスクマネジメントの方法と重要性	事前：教科書の学習内容に該当する章を読む。 事後：講義資料とノートの確認	〃	〃